

令和 7 年度 兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会事業報告

1 総会の開催

開催日：令和 8 年 3 月 13 日（アオアヲナルトリゾート）

概 要：＜議決事項＞

- ・協議会規約の一部改正について



協議会総会

＜報告事項＞

- （1）令和 7 年度「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた取組について
 - ・学術調査進捗状況、普及啓発活動状況等
 - ・2025「鳴門海峡の渦潮」国際シンポジウム
- （2）今後の「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録推進への取組について

2 幹事会の開催

（1）第 1 回幹事会

開催日：令和 7 年 7 月 11 日（鳴門市役所）

概 要：令和 6 年度の事業報告、収支決算を行うとともに、
令和 7 年度の事業計画及び収支予算の決定を行った。

（2）第 2 回幹事会

開催日：令和 8 年 2 月 16 日（兵庫県洲本総合庁舎）

概 要：令和 7 年度事業の進捗状況報告を行うとともに、令和 8 年度事業計画（案）
及び収支予算（案）、協議会総会の実施内容等について検討を行った。

3 世界遺産登録に向けた学術調査（自然分野）

（1）学術調査委員会（自然分野）

○第 14 回鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会（令和 7 年 8 月 1 日）

令和 6 年度の学術調査結果、令和 7 年度の学術調査実施概要について報告した。
国際シンポジウムの実施概要や環境省・文化庁への訪問結果の報告を行った。

○第 15 回鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会（令和 8 年 2 月 13 日）

令和 7 年度の学術調査結果の中間報告をするとともに、令和 8 年度の学術調査委員会の取組方針について報告した。

（2）学術調査

①完新世海面変動に関する研究

約 6 ～ 8 千年前の縄文海進最盛期における相対的海水準を明らかにし、鳴門海峡周辺域における相対的海水準の上昇速度を算出して、大規模な渦潮の発生時期をより高精度で推定することを目的として、完新世海面変動に関する調査

研究を進めている。

令和7年度は、令和5・6年度の人材ボーリング調査の結果に基づいて、鳴門市大島田地区において、機械式ボーリングコア調査を実施した。

※各種分析調査は令和8年度事業として計画

②海峡の地形形成に関する調査及び分析

和泉層群の砂岩泥岩互層から構成される鳴門海峡、淡路島沿岸部の地形が、岩石強度の違いに制約された差別侵食により形成されていることを実証的・定量的に示す。

波蝕に対する抵抗性の差異が影響している可能性を検証することを目的に、岩石の弾性波速度を測定し、未風化岩石の強度と乾湿風化を受けた岩石の強度を総合した「割れ目岩盤強度」を推定し、波状起伏の凹凸との関係を検討して両関係を明らかにする調査をしている。

※令和8年度継続事業として計画

③海外類似資産調査

海外類似資産との比較に必要な情報（海外の「渦潮」の規模、発生メカニズム、地形条件など）を収集・整理し、「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けての基礎資料とするため、海外研究機関（ノルウェー・ノード大学、スコットランド・スコットランド海洋科学協会（SAMS））との共同調査研究に関する調整を行った。また国際シンポジウムでの海外研究者の招聘調整、サポートを行った。

④世界遺産登録に向けた新たなアプローチの研究調査

「鳴門海峡の渦潮」の推薦をめざす際に必要となる、沿岸・海域における評価基準(vii)自然現象・自然美、(viii)地球の歴史・地形地質に基づいて登録された自然遺産・複合遺産について、文献研究および現地調査によって、「鳴門海峡の渦潮」への本基準の適用可能性を分析した。

4 2025「鳴門海峡の渦潮」国際シンポジウムの開催（兵庫・徳島合同）

鳴門海峡の渦潮に関するこれまでの研究成果を踏まえた普遍的価値や海外の渦潮の状況を各関係者から発表するとともにユネスコ関係者より海の世界遺産の保護や持続可能な利用に関する記念講演を行った。

（1）国際シンポジウム

- ① 開催日：令和7年9月1日 13:00～16:40
- ② 場所：ホテルニューアワジ プラザ淡路島 賀集の間
- ③ 参加人数：約190名

（2）意見交換会

- ① 実施日：令和7年9月1日 17:30～18:30

② 場 所：ホテルニューアワジ プラザ淡路島 吹上の間

③ 参加者：海外招聘者５名、学術調査委員、南あわじ市長、鳴門市長、兵庫県、徳島県、南あわじ市、鳴門市、兵庫県議会議員

（３）現地視察

① 実 施 日：令和７年９月１日、９月２日

② 視察場所：うずしお科学館、道の駅うずしお、福永家住宅、千畳敷展望台、渦の道、うずしおクルーズ

５ 世界遺産登録に向けた調整（兵庫・徳島合同）

世界遺産登録に向け環境省・文化庁に訪問し、昨年度に取りまとめた今後の目指す方向性について報告するとともに、意見交換を行った。

（１）日 時：令和７年５月２８日

（２）場 所：環境省、文化庁

（３）参加者：計１０名 兵庫県淡路県民局長、兵庫県企画部次長、兵庫県地域振興課歴史資源活用専門官、兵庫県議会議員、兵庫県事務局（淡路県民局）、徳島県事務局（文化資源活課）等